


クラス	専門演習 104	担当教員	野崎 泰志
	テーマ	医療福祉マネジメントから開発と福祉を考える	
	著書・論文 研究課題等	著書：『ネパールを知るための60章』（共著、明石書店）、『社会福祉辞典』（共著、大月書店）、『世界の社会福祉年鑑2005』（共著、旬報社）、『新版障害者福祉』（共著、学文社） 論文：「開発 NGOs の組織評価試論—ODA と NGO の連携強化へ向けて」『日本福祉大学経済論集』、「国際福祉と伝統組織—ネパールの伝統組織と異文化間ソーシャルワーク」『日本福祉大学研究紀要—現代と文化』 研究課題：住民組織とその参加、開発組織の組織評価、インクルーシブ社会のための CBR	

ゼミナール概要

キーワード：開発マネジメント、異文化ソーシャルワーク、People with Disability、CBR、Inclusion

目的：途上国における開発協力と日本における社会福祉実践を共通の課題から見通すために医療福祉マネジメントを学び、世界でも日本でも通用する**多文化ソーシャルワーカー**を育成する。

内容：地球規模の課題である人権・貧困・平和にしても、個別のテーマである人口・女性・子供・障害者・高齢者・難民などにしても、いずれも**広い意味での社会福祉（well-being）**の視点から見ることができます。それは、与えられるサービスや制度として福祉を見るのではなく、**住民や当事者自身が編み出していきより良い生活デザイン**のこゝとして福祉を捉えなおす視点です。それによって、個人の生活や地域社会に新しい生活規範を作り上げ、新しい国際協力を創造していくことを**福祉開発**と呼ぶとすれば、それを国際的に担うのが異文化に通暁した**開発ソーシャルワーカー**です。

福祉開発を実現していくためには、対象や状況に応じた福祉計画が設計され、適切な実施運営がなされ、公平な評価が行われなければなりません。これらは一定の知識と経験を要する専門領域です。

私自身、途上国（ネパール）で長く開発 NGO のワーカーとして、障害者福祉・地域保健・病院管理・地域福祉・環境保全などの仕事に携わって来ました。その体験から医療福祉マネジメントに通じた人材がいかに必要であるかを痛感しています。そして層の厚い日本の医療福祉人材が更に世界に貢献できるようになれば日本の社会福祉も更に大きく飛躍できるものと思っています。

近年、青年海外協力隊や JICA 専門家の中で、福祉専門職の派遣は飛躍的に増えています。一方、日本国内での外国人就労者も増え、彼らの福祉ニーズも多様化しています。こうした時代の流れの中で、開発協力の世界でも日本の社会福祉実務の世界でも通用し、それらの交流を促進しながら福祉開発を通して国際平和に貢献するための実務力の養成を行います。

基本テーマに関するキーワード

開発と人権、社会開発、人種差別、世界の高齢者問題、世界の子供の地位、児童労働、ストリートチルドレン、世界の障害者問題、世界の女性の地位、ジェンダーと開発、参加型開発、地域紛争と難民、飢餓、人口エイズ、国際機関の社会福祉活動、国際社会福祉団体、比較社会福祉政策、福祉の人材養成、Community Based Rehabilitation(CBR)

医療福祉マネジメントに関するキーワード

非営利と営利と自治体、協同組合、NPO の経営評価、病院管理、介護保険と経営、自治体の事業評価、在宅福祉、地域福祉計画、組織評価、生活の質、資金調達、コミュニティ作り、開発協力とマネジメント、ODA と NGO。

演習の方法

文献講読と発表など。読解力や文章力の向上を目指します。三年次でゼミ旅行・合宿一回、四年次では卒論報告合宿。

担当教員からのメッセージ

卒論を仕上げることに全力をあげます。テーマは自由です。これまでの卒論の傾向は以下のようです。国際保健、国際福祉（21%）、障害者（18%）、医療・福祉（16%）、経営・マネジメント（11%）、保育・子ども（7%）、高齢者（5%）、その他（20%）。ネパールにおける海外インターンシップや海外フィールドワークの希望があれば、個別に相談に応じて企画し、必要であれば同行して指導します。**社会福祉士国家試験**を受ける者は本ゼミに所属するように。ゼミ生は私の講義科目「障害者福祉論」と「地域福祉論」を必ず履修して下さい。